

# 大阪マラソン組織委員会(第20回)

日 時 平成29年2月8日(水) 11時～

場 所 KKRホテル大阪 3階 銀河

出席者 (別紙のとおり)

次 第 ○ はじめに

○議 事

1 第6回大阪マラソンの結果報告について

2 第7回大阪マラソンについて

(1) 大会要項について

(2) マラソンコースについて

(3) ランナー募集について

(4) ランナー募集ポスターについて

(5) チャリティ事業について

(6) ボランティアについて

(7) 今後の主なスケジュールについて

○ おわりに

## 【配布資料一覧】

- |                              |         |
|------------------------------|---------|
| ■ 第6回大阪マラソンの結果報告について         | 《資料1》   |
| 第6回大阪マラソン参加ランナー・観客への調査結果(抜粋) | 《資料1-1》 |
| 第6回大阪マラソン経済波及効果の検証           | 《資料1-2》 |
| ■ 第7回大阪マラソン 大会要項概要(案)        | 《資料2》   |
| ■ マラソンコースについて                | 《資料3》   |
| ■ ランナー募集について                 | 《資料4》   |
| ■ ランナー募集ポスターについて             | 《資料5》   |
| ■ チャリティ事業について                | 《資料6》   |
| ■ ボランティアについて                 | 《資料7》   |
| ■ 今後の主なスケジュールについて            | 《資料8》   |

## 出席委員名簿 大阪マラソン組織委員会(第20回)

役職	氏名	所属
会長	松本 正義	一般財団法人大阪陸上競技協会会長
副会長	新井 純	大阪府副知事
副会長	鍵田 剛	大阪市副市長
副会長	竹内 章	一般財団法人大阪陸上競技協会専務理事
委員(代理)	橋本 誠司	読売新聞大阪本社執行役員事業本部長
委員	宮川 晴美	大阪市地域振興会会長
委員	千田 忠司	大阪府商店街連合会会長、大阪市商店会総連盟理事長
委員	蔭山 秀一	一般社団法人関西経済同友会代表幹事
委員(代理)	本田 勝士	公益財団法人大阪体育協会事務局長
委員	齊喜 博美	大阪府スポーツ推進委員協議会会長
委員(代理)	宮本 裕正	大阪市体育協会事務局次長
委員	橋爪 静夫	大阪府障がい者スポーツ協会会長
委員	山田 俊平	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会理事長
委員(代理)	鎌田 広行	国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所建設専門官
委員(代理)	福元 稔	国土交通省近畿運輸局観光部計画調整官
委員(代理)	横田 英紀	阪神高速道路株式会社経営企画部経営企画課課長代理
委員	岡本 圭司	大阪府府民文化部長
委員	田中 実	大阪府教育庁教育振興室保健体育課長
委員(代理)	芳田 隆	大阪市経済戦略局理事
委員(代理)	新川 広樹	大阪市交通局事業管理本部営業部長
委員	北田 耕之	一般財団法人大阪陸上競技協会副専務理事
委員	藤野 隆雄	株式会社ケイ・オプティコム代表取締役社長
監事(代理)	楠本 浩司	大阪商工会議所地域振興部次長

監事	樋元 四郎	一般財団法人大阪陸上競技協会事務局長
----	-------	--------------------

欠席者

顧問： 松井大阪府知事、吉村大阪市長、今井大阪府議会議長、木下市会議長

委員： 大阪府商店街振興組合連合会 辰野理事長

公益社団法人関西経済連合会 森会長

大阪商工会議所 尾崎会頭

公益財団法人大阪観光局 福島会長

大阪府体育連合会 田中会長

大阪市体育厚生協会 濱田会長

大阪市スポーツ推進委員協議会 上野会長

一般財団法人大阪府医師会 茂松会長

※ご欠席の委員の方々からは、会長あての委任状をいただいております。

## 第6回大阪マラソンの結果報告について

- 1 大会名 「第6回大阪マラソン ～OSAKA MARATHON 2016～」
- 2 開催日 平成28年10月30日（日）
- 3 主催 大阪府・大阪市・一般財団法人大阪陸上競技協会
- 4 共催 読売新聞社
- 5 主管 一般財団法人大阪陸上競技協会
- 6 運営協力 大阪パラ陸上競技協会
- 7 後援
 

31 団体

 公益財団法人日本陸上競技連盟、大阪市地域振興会、大阪府商店街連合会、大阪府商店街振興組合連合会、大阪市商店会総連盟、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会、公益財団法人大阪観光局、公益財団法人大阪体育協会、大阪府体育連合、大阪府スポーツ推進委員協議会、大阪市体育協会、大阪市体育厚生協会、大阪市スポーツ推進委員協議会、一般財団法人大阪スポーツみどり財団、大阪府障がい者スポーツ協会、社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会、一般社団法人大阪府医師会、一般社団法人大阪府病院協会、公益社団法人大阪府看護協会、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、阪神高速道路株式会社、社会福祉法人読売光と愛の事業団、特定非営利活動法人大阪ライフサポート協会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、報知新聞社、株式会社毎日放送、読賣テレビ放送株式会社 <順不同>
  - ※メイトゥー 株式会社ケイ・オブティコム
  - ※ワイヤルズ 株式会社、株式会社ダスキン、大和ハウス工業株式会社、久光製薬株式会社、コカ・コーラ、セイコーホールディングス株式会社、関西大学、株式会社アドバンスクリエイト、第一生命保険株式会社、読売新聞社、アサヒビール株式会社、近畿日本ツーリスト株式会社、株式会社フォトクリエイト、日本通運株式会社、トヨタ自動車株式会社、住友電気工業株式会社、岩谷産業株式会社、コスモ警備保障株式会社、日清製粉グループ <順不同>
  - ※サポーター FM802、井村屋株式会社、株式会社神戸屋、株式会社青木松風庵、紀州田辺うめ振興協議会、江崎グリコ株式会社 <順不同>

8 種 目 マラソン (1)登録 (2)一般 (3)車いす  
併設レース：チャレンジラン [8.8km]

9 参加者等

	マラソン (42.195 km)	チャレンジラン (8.8 km)	合 計
定 員	30,000人	2,000人	32,000人
エントリー (H27.4.6~5.8)	126,867人	6,994人	133,861人
出走者数	30,298人 (車いす9人含む)	1,961人	32,259人
完走者数	29,443人 (車いす9人含む)	1,908人	31,351人
完走率	97.2%	97.3%	97.2%

《参考：出走者ベース》

(1) 国内都道府県別 (国内参加：28,124人)

① 大阪府 (11,700人[41.6%]) ② 兵庫県 (4,025人[14.3%])

③ 東京都 (1,813人[6.5%])

(2) 国外居住地別 (国外からの参加：4,135人)

①香港 (1,399人) ② 台湾 (1,107人) ③ タイ (642人)

④中国 (396人) ⑤シンガポール (129人)

(3) 完走者最高年齢 (フルマラソン)

男性：83歳，女性：79歳 (参考：チャレンジランは男性92歳)

10 参加ボランティア 延べ9,652人

(内訳) コース管理：8,409人，マラソンEXPO：1,186人，  
力持ちボランティア (自転車運搬補助業務)：57人

11 制限時間 7時間

12 コース スタート : 大阪城公園前  
フィニッシュ：インテックス大阪  
主な通過点 : 御堂筋・道頓堀・中之島・大阪市中央公会堂  
京セラドーム大阪・なんば駅・通天閣周辺  
南港周辺など

※公益財団法人日本陸上競技連盟及び

AIMS (国際マラソン・ロードレース協会) 公認コース

13 総事業費 約14.0億円

## 14 その他

### ①給水《給水所：15カ所》

(スポーツドリンク：2ℓ：19,614本、500mℓ：37,752本)

(清涼飲料水：1.5ℓ・2ℓ：2,700本)

(水：2ℓ：41,796本)

### ②給食《給食所：5カ所》

(バナナ：3万本、一口パン：4万500個、塩飴：2万個、  
柿の葉ようかん・乾燥梅肉ソフト・みるく饅頭各1万個等)

※32.5 km地点では大阪市商店会総連盟が大阪マラソン公式給食エ  
イドを運営(おやついなり、プチトマト、コロッケなどを提供)

### ③仮設トイレ等 707基

### ④大阪マラソン沿道応援イベント『ランナー盛上げ隊!』

(コース沿道15カ所、出演団体：55団体、応援団・

邦楽・ダンス・踊り(よさこい等)・吹奏楽など)

⑤沿道人数 1,330,000人

⑥苦情件数 2件

⑦問い合わせ件数 145件

### ⑧医事・救護

救護所利用件数：1,410件

(うちAED使用件数：0件、救急搬送件数：13件)

※救護スタッフ850人

内訳：医師140人・看護師155人(メディカルナースを含む)、  
救急救命士20人、トレーナー101人 など

### ⑨テレビ中継

10/30

・読売テレビ(YTV) 9:55~11:25 視聴率8.8%

・毎日放送(MBS) 13:00~14:24 視聴率5.8%

・eō光テレビ 8:40~16:10

## 【大阪マラソン EXPO2016】

1 日 程 平成28年10月28日(金)~30日(日)

2 時 間 11:00~20:00

(ただし30日は10:00~17:00・16:30最終入場)

3 場 所 インテックス大阪1・2・3号館

4 出展社数 103社(企業ブース65社、うまいもん市場38社)

5 入場者数 123,000人

## 【チャリティ募金】

区 分	金 額
ランナー参加料入金時の募金（個人@500円×2口以上）	47,838,000円
チャリティ親子ラン参加料入金時の募金	135,000円
なないろチャリティTシャツ販売による寄付金	20,788,000円
なないろチャリティキャップ販売による寄付金	4,399,200円
チャリティウィンドブレーカー販売による寄付金	11,767,000円
ニックネーム入りナンバーカード販売による寄付金	460,400円
大阪マラソン特設サイト募金 （チャリティランナー（達成者682人）による寄付金額含む）	51,215,195円
府内商店街等との連携イベント等での募金	18,822円
スポンサーにおける募金	246,955円
大阪マラソン EXPO2016 のチャリティランナー等での募金 (10/28~30)	1,434,480円
チャリティオークション（10/29 大阪マラソン EXPO2016）	335,500円
コース沿道での募金（10/30）	330,469円
大阪マラソンチャリティ寄付先団体の募金活動による寄付金	354,635円
その他の募金活動による寄付金	500円
熊本地震災害による義援金募金 （6/19 大阪マラソンファンラン 2016、大阪マラソン特設サイト募金）	899,259円
合 計	140,223,415円

## 《第6回大阪マラソン 競技結果》

### 1. 車いすの部 (男子)

	氏名	所属	記録
1位	伊藤 尚弘 <small>いとう たかひろ</small>	神奈川	1時間35分02秒
2位	西原 宏明 <small>にしはら ひろあき</small>	京都	1時間48分24秒
3位	北川 秀夫 <small>きたがわ ひでお</small>	兵庫	1時間49分10秒

### 2. マラソン男子の部

	氏名	所属	記録
1位	ガンドゥ・ベンジャミン	ケニア	2時間12分47秒
2位	山岸 宏貴 <small>やまぎし ひろき</small>	東京 GMO ATHLETES	2時間12分59秒
3位	伊藤 太賀 <small>いとう たいが</small>	静岡 スズキ浜松アスリートクラブ	2時間13分35秒

### 3. マラソン女子の部

	氏名	所属	記録
1位	坂本 喜子 <small>さかもと よしこ</small>	三重 四日市ウエルネスクラブ	2時間36分02秒
2位	木下 裕美子 <small>きのした ゆみこ</small>	東京 SWAC	2時間37分03秒
3位	吉松 久恵 <small>よしまつ ひさえ</small>	山口 周南市役所	2時間38分00秒

### 【シカゴマラソン賞】

	氏名	記録	備考
男性1位	前田 洋輔 <small>まえだ ようすけ</small>	2時間26分18秒	府在住者、第40回シカゴマラソン(2017.10.8)招待
女性1位	出野 ひろみ <small>での ひろみ</small>	2時間58分46秒	

### 【市民ランナー賞】

	氏名	記録	備考
男性1位	前田 洋輔 <small>まえだ ようすけ</small>	2時間26分18秒	招待選手、提携マラソン 代表選手は除く
女性1位	井野 光子 <small>いの みつこ</small>	2時間44分00秒	



第6回大阪マラソン  
参加ランナー・観客へのアンケート調査結果(抜粋)

大阪マラソン組織委員会

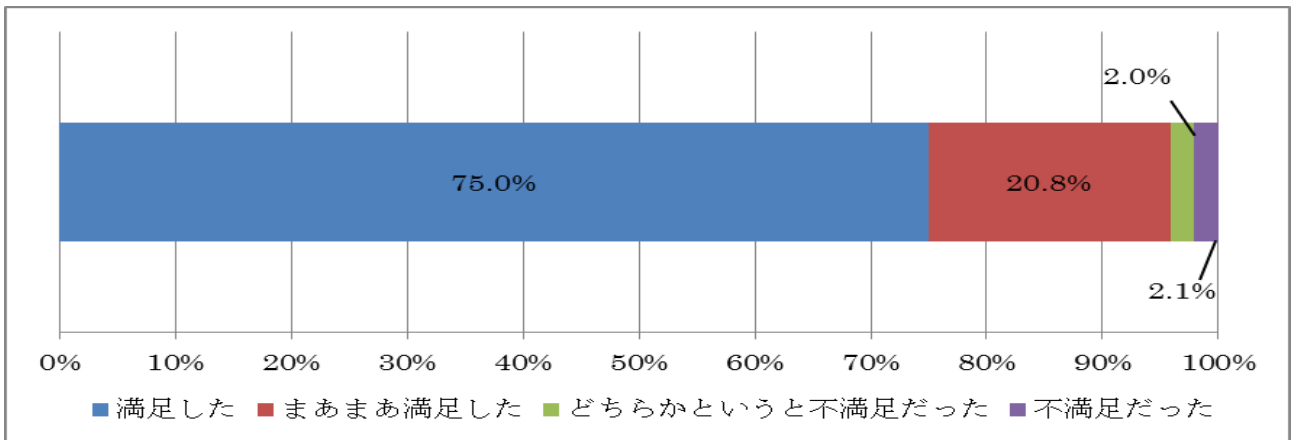
出典:第6回大阪マラソン共同調査研究(関西大学・読売新聞社)

本資料は、第6回大阪マラソンに参加したランナー、観客を対象に、大会参加の意識、大会運営に対する評価、チャリティマラソンの社会的意義などを明らかにすると同時に、大阪マラソンの課題を解決し、今後の大会運営に活かすことを目的とする「第6回大阪マラソン共同調査研究」結果を元に作成したものです。

なお、同研究は、大阪マラソン組織委員会が、読売新聞大阪本社と関西大学に共同調査研究を依頼したものです。

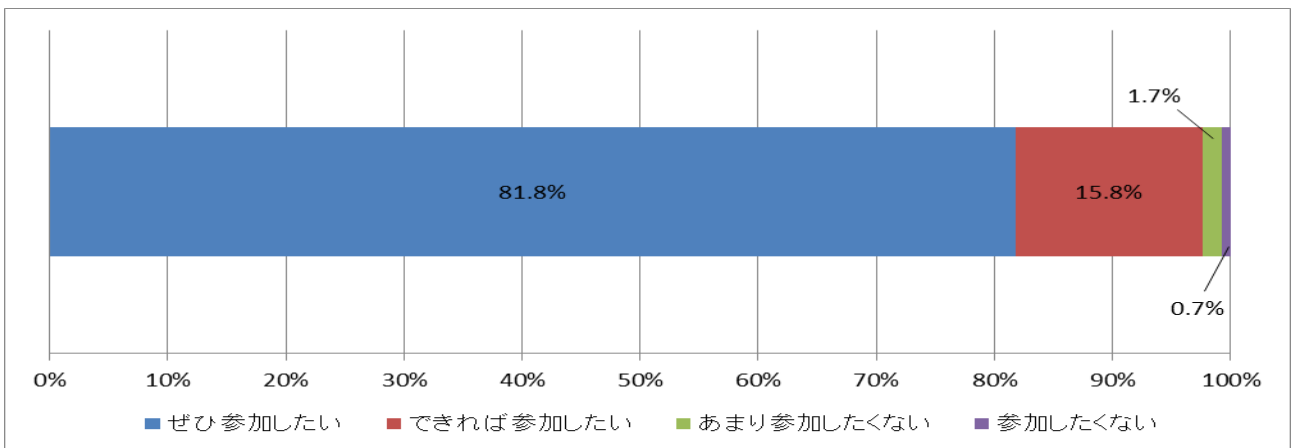
## 一般ランナー意識調査

### ■第6回大阪マラソンに満足しましたか？



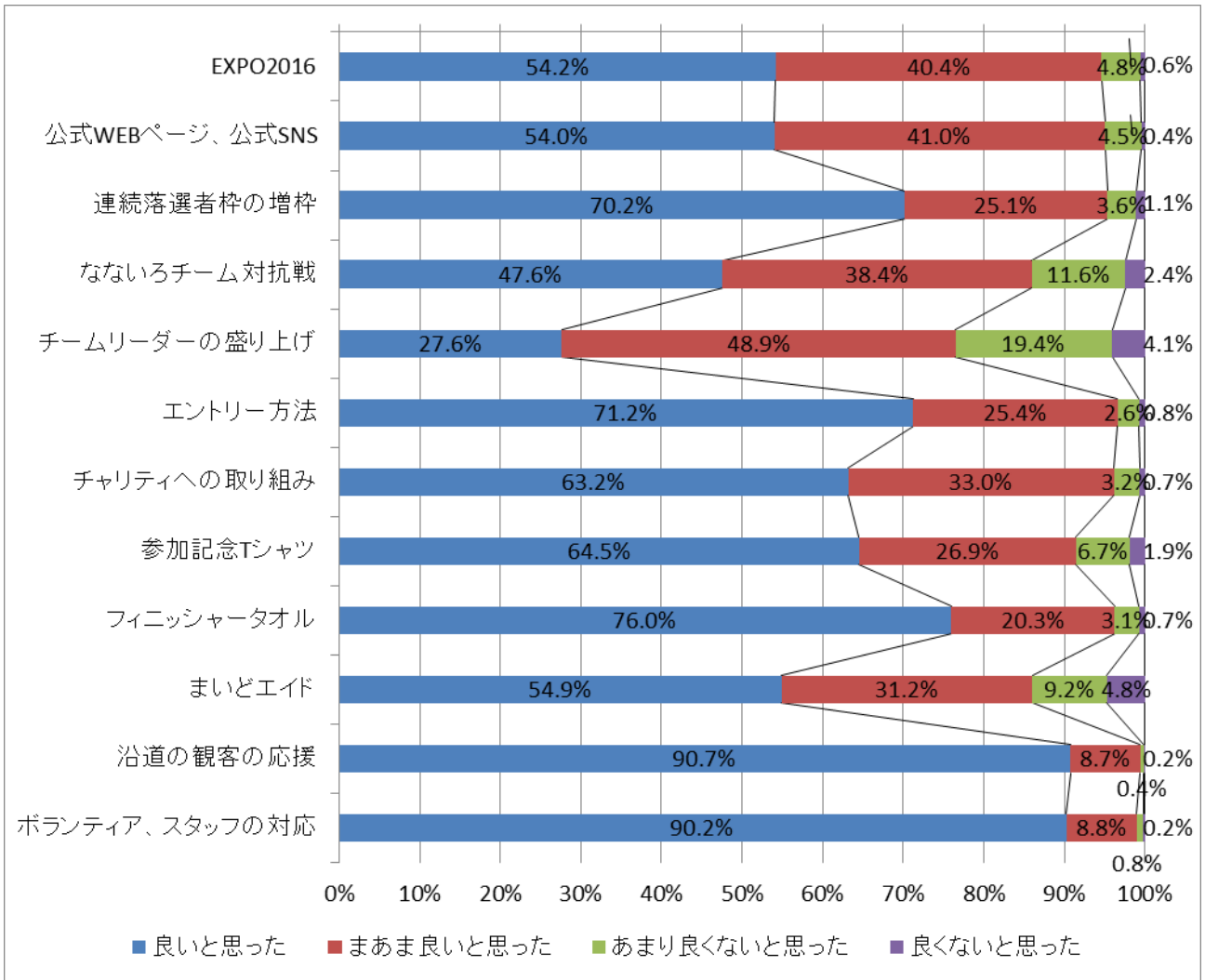
満足した 75.0%、まあまあ満足した 20.8%と満足している人が 95.8%(昨年 96.8%)であり、大会への満足度は高いといえる。

### ■第7回大阪マラソンに参加してみたいですか？



ぜひ参加したいが 81.8%、できれば参加したいが 15.8%と参加したいと回答した人が 97.6%となり、満足度と関連している。

■第6回大阪マラソンの運営について、どのように思われますか？



ここでは、それぞれの項目の違いを明確にするために、「良いと思った」人の割合だけで評価してみる。

大会運営における人との関わりでは、「沿道の観客の応援」が良かったとする人は 90.7%(昨年 88.7%)と最も高く、観客の応援がリピータの増加につながっていると考えられる。

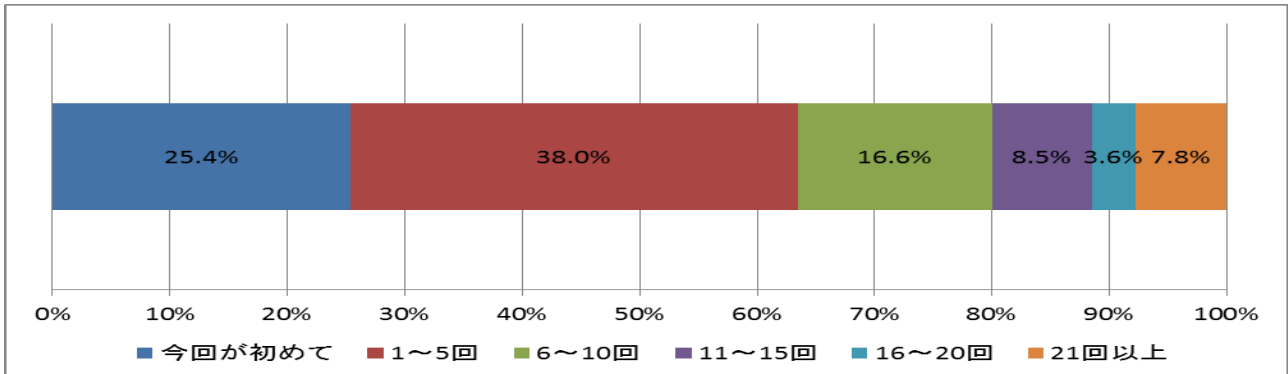
次いで「ボランティア、スタッフの対応」が 90.2%である。これも、沿道の観客の応援と同様に、市民マラソンで大切なホスピタリティが発揮されていて、リピータの増加につながっていると推察される。

「フィニッシャータオル」「エントリー方法」「連続落選者枠の増枠」が約7割ずつ占めていることから、大阪マラソン特有の運営もおおむね好評である。

一方、「なないろチームリーダーの盛り上げ」が 27.6%と一番低い評価だった。その認知度を含めて工夫が必要である。また、「なないろチーム対抗戦」が 47.6%(前年 55.2%)と昨年に比べてさらに下がっていることから、大阪マラソンにおける役割の再検討が必要だと考えられる。

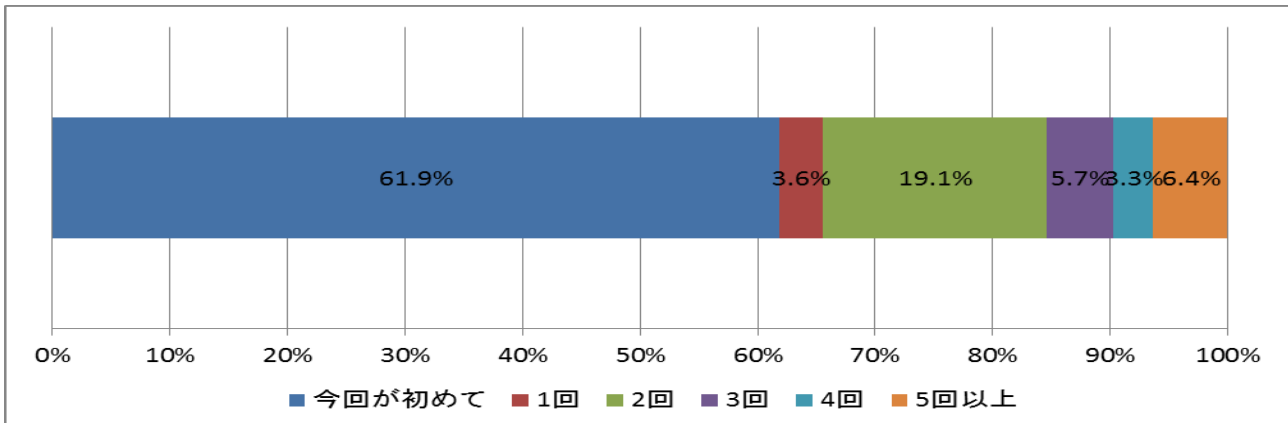
## 海外ランナー意識調査

■これまでの海外での市民マラソン参加経験はありますか？



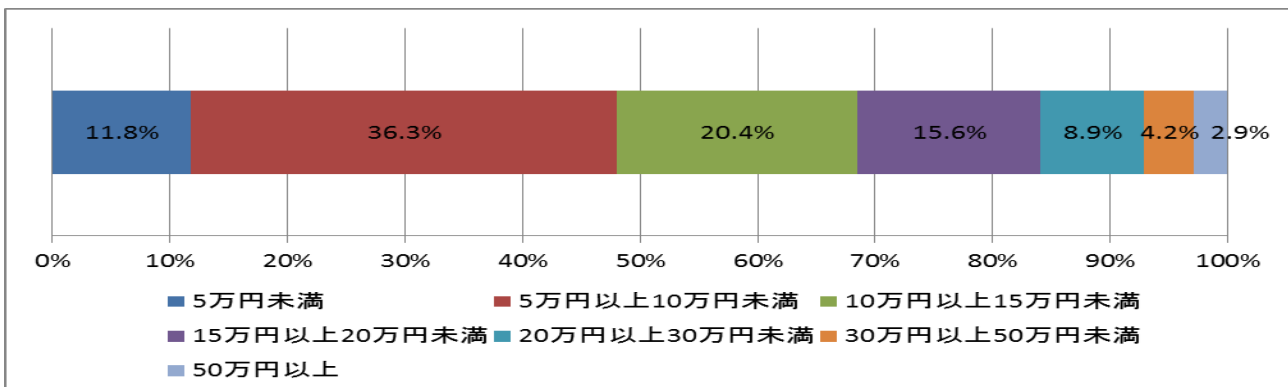
今回が初めてという参加者は 25.4%(昨年 51.8%)で、続いて、1~5 回経験がある参加者が 38.0%(昨年 10.6%)であり、海外での市民マラソン参加者が増えている。

■これまでの日本でのマラソン経験はありますか？



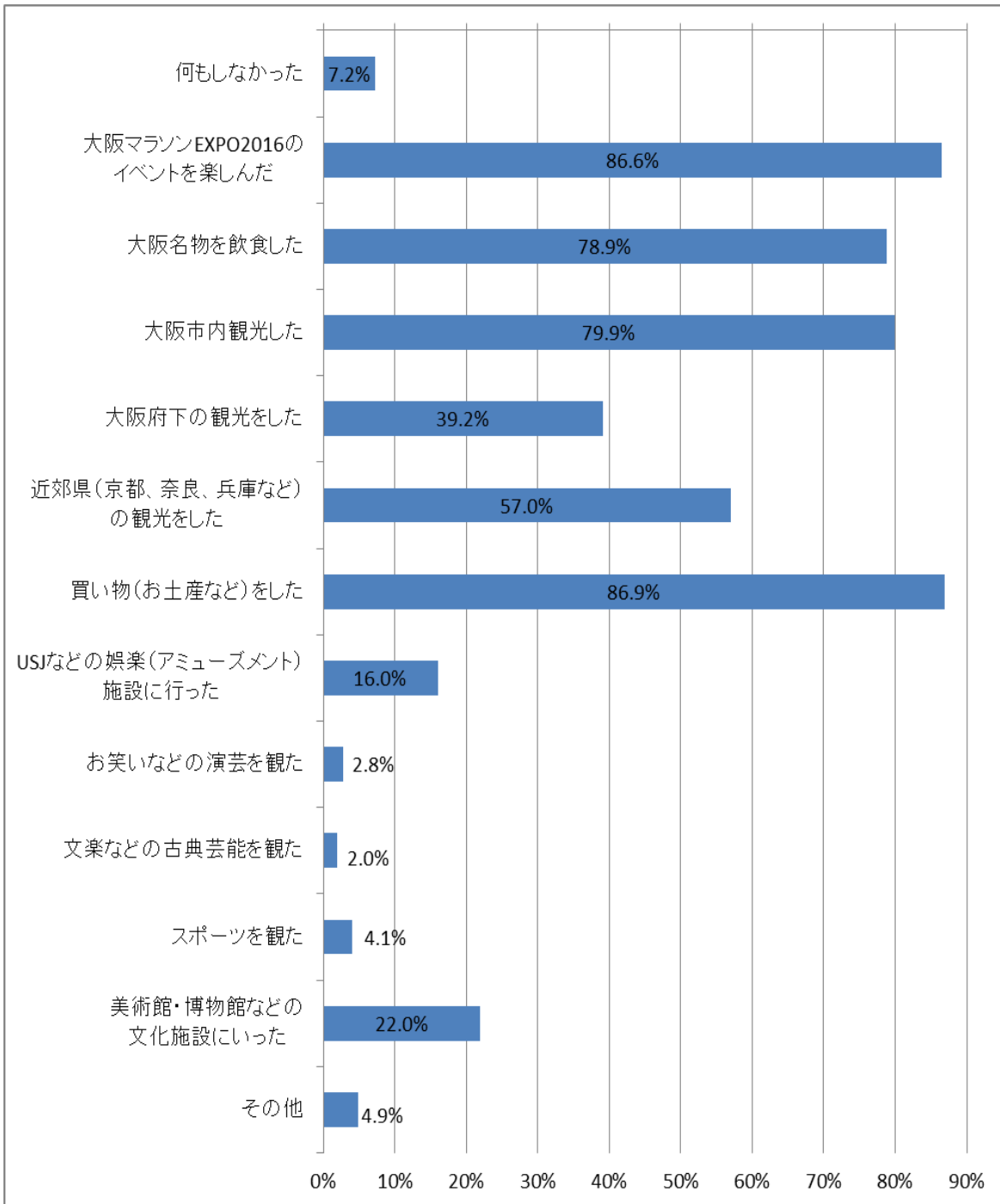
今回の大阪マラソンが初めての参加と答えた人が 61.9%(昨年 64.4%)と半数以上を占めており、海外での初マラソンに大阪マラソンを選んだ人が半分以上いることになる。

■あなたは、大阪滞在中に概算でどれだけの経費を使いましたか?(宿泊交通費、食費、お土産など滞在期間中の費用一切(大阪への渡航費、大阪マラソン参加料、チャリティは除く)。



5万円以上 10万円未満を使っている人が 36.3%(日本 10.2%)、10万円以上 15万円未満が 20.4%(日本 1.7%)、15万円以上 20万円未満が 15.6%(日本 0.5%)で、宿泊を伴うこともあって、日本人に比べてかなりの経済効果があると考えられる。

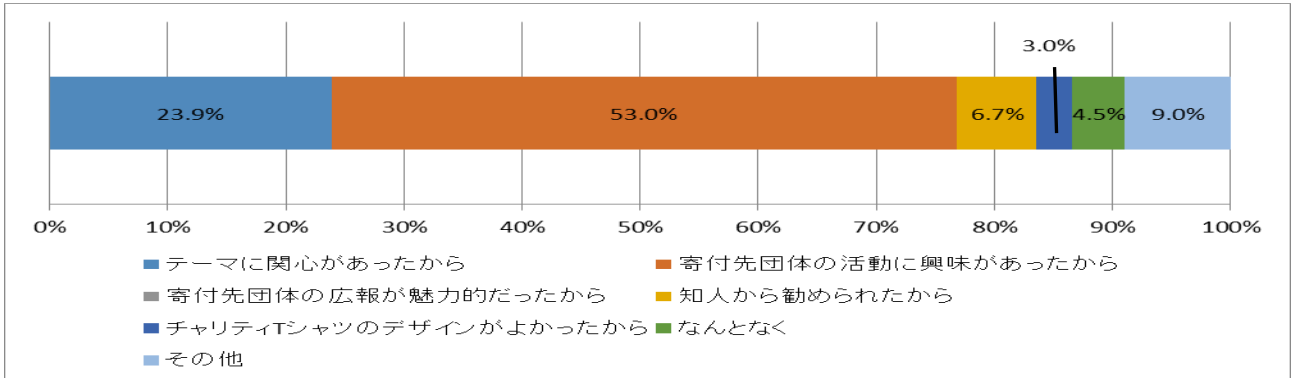
■あなたは、大阪滞在中に大阪マラソン参加以外に何か活動をしましたか？



買い物(お土産など)をしたが 86.9%(日本 24.1%)、大阪マラソン EXPO2016 のイベントを楽しんだが 86.6%(日本 69.2%)、大阪市内観光をしたが 79.9%(日本 14.2%)、大阪名物を飲食した 78.9%(日本 34.0%)とどれも高い割合を示した。このようなことから、大阪マラソンをスポーツツーリズムとして捉えているといえる。

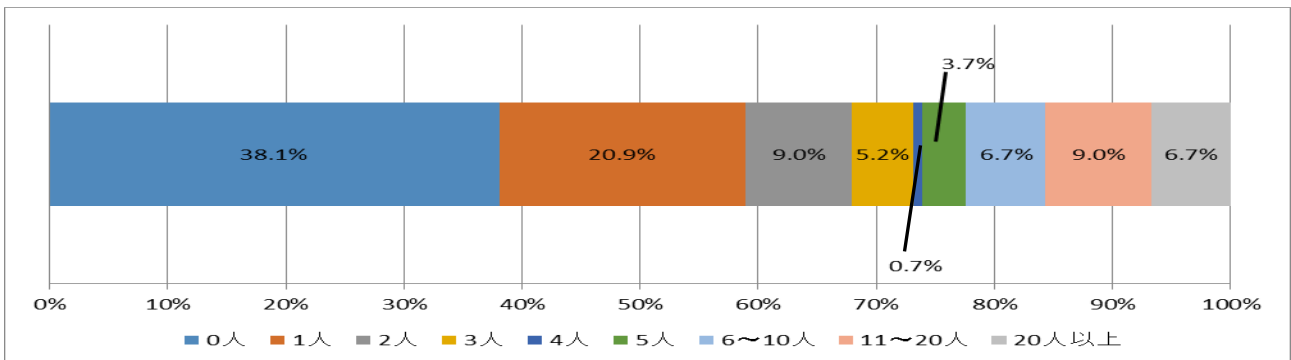
## チャリティランナー意識調査

### ■寄付先団体を決めた一番の理由は何ですか？



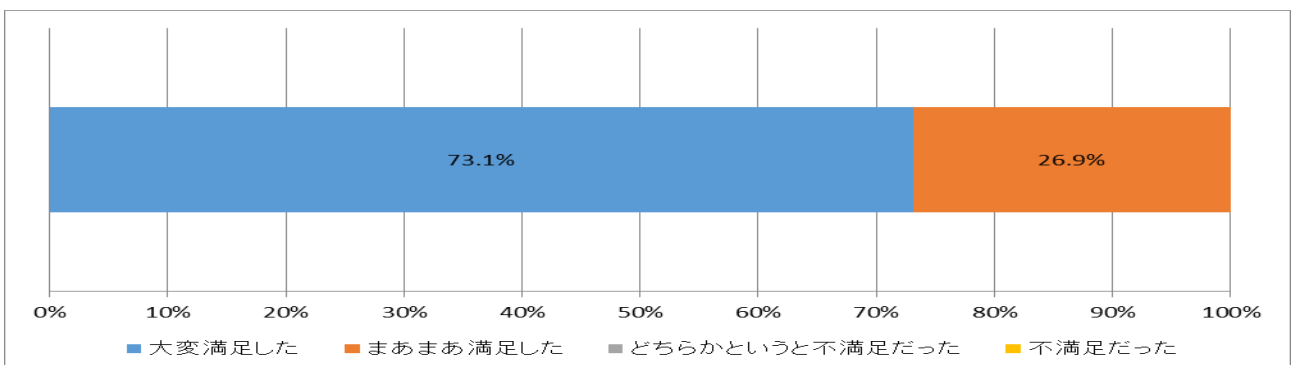
「テーマに関心があったから」は23.9%(昨年35.0%)と減少傾向にある一方で、「寄付先団体の活動に興味があったから」が53.0%(昨年49.5%)と増加している。チャリティランナーと寄付先団体のつながりが強くなっていることが、この背景にあると推察できる。

### ■何人のサポーターから寄付を集めましたか(自分自身を除く)？



寄付を集めた人数が0人は38.1%(昨年40.8%)、1人は20.9%(昨年26.2%)で、募金活動を積極的に行わなかった人が減少している。本来のチャリティランナーの意図が浸透し始めてはいる。

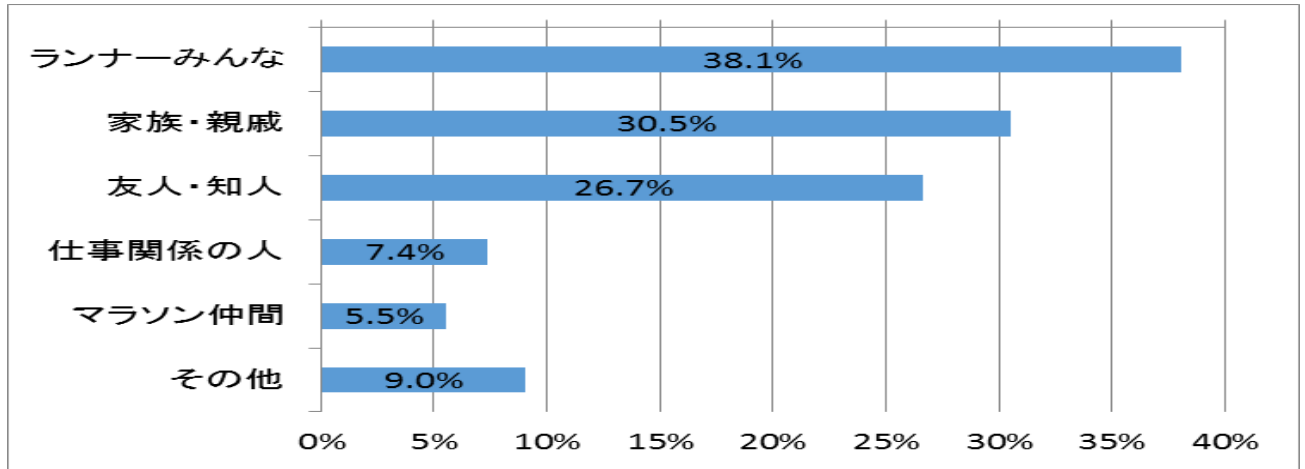
### ■チャリティランナーとして走ってみて満足しましたか？



「大変満足した」は73.1%(昨年76.7%)と少し減少し、「まあまあ満足した」が26.9%(昨年20.4%)と増加しており、少し満足度は下がったとみてもよいだろう。

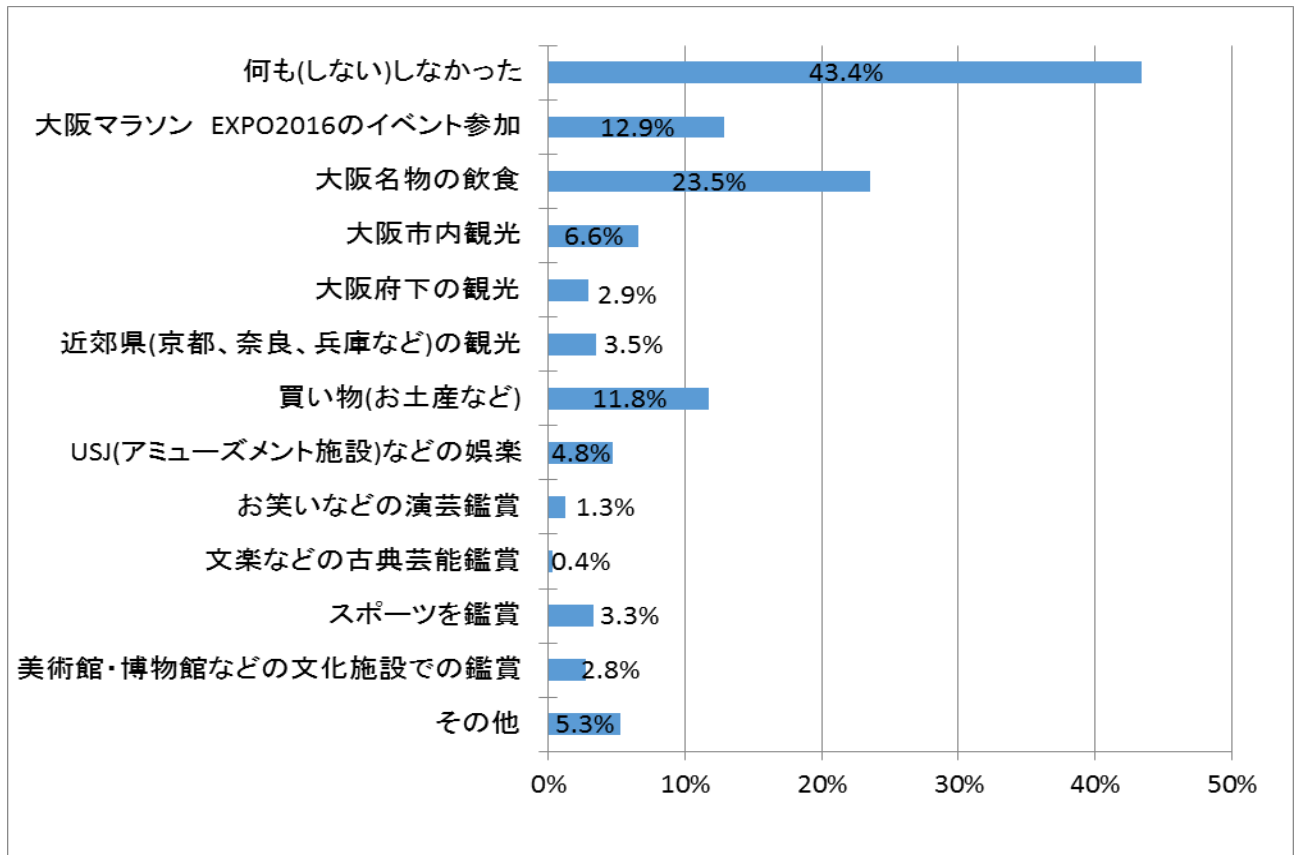
## 観客意識調査

### ■ 誰を応援しましたか、誰を応援しますか？（複数回答可）



誰を応援しに来たかを尋ねると、「ランナーみんな」が 38.1%（去年は 14.5%）であった。複数回答にしたからこのように増加したのであるが、家族や知人を応援に来たとしても、他の人も応援していることが分かる。「家族・親戚」が 30.5%（昨年 31.8%）、「知人・友人」が 26.7%（昨年 33.6%）と、関係者のランナーを応援しに来た人はそれほど昨年と変わらない。

### ■ 大阪マラソン観戦以外に何か活動しましたか、あるいは活動する予定ですか？（複数回答可）



マラソン以外の活動では、「何も(しない)しなかった」が 43.4%（昨年 51.3%）、「大阪市内観光」が 6.6%（昨年 8.7%）、「買い物(お土産など)」が 11.8%（昨年 13.2%）で、これらの項目は昨年より減少しているものの、「大阪名物の飲食」23.5%（昨年 14.5%）は増加しており、観客にもスポーツツーリズムの傾向がみられる。

## 「第6回大阪マラソン」経済波及効果

### 「第6回大阪マラソン」の開催による経済波及効果は144億円

平成28年9月、関西大学 宮本勝浩名誉教授が、「第6回大阪マラソン」の開催による経済波及効果（予測）は141億円と推定されました。

そして今般、大会終了後に明らかになった各種データに基づき、再検証された結果、予測よりも3億円上回る**144億円**であったことが立証されました。

（本経済波及効果は、海外からの参加を含むランナー、沿道の観客、大会関係者、ボランティア、メディア、スポンサー関係者などの消費支出や、大会グッズの売り上げなどを、関西大学独自に調査したデータに基づいて算出されたものです。）

#### 【「第6回大阪マラソン」経済波及効果 概要】

##### ① 直接効果：115.9億円

##### 1. 大会参加者による消費支出

- |  |         |
|--|---------|
| (1) マラソンランナーの消費支出                          | 約9.3億円  |
| (例) 府外からの20,559人の参加者（うち海外からは4,135人）        |         |
| (2) ジョギングやマラソン愛好者の大会観戦者の消費支出               | 約11.4億円 |
| (例) 108,900人の観戦者（愛好家人口（レジャー白書）の3,630万人を参考） |         |
| (3) ランナー関係の観戦者の消費支出                        | 約18.5億円 |
| (例) 6.5万人の応援観戦者（ランナー一人あたり家族、友人など平均2人が応援）   |         |
| (4) 一般観戦者の消費支出                             | 約56.4億円 |
| (例) 106万人の観戦者                              |         |
| (5) メディア関係者の消費支出                           | 約0.6億円  |
| (6) ボランティアの消費支出                            | 約0.4億円  |
| (例) 府内から8,687人、府外から965人の参加者                |         |
| (7) スポンサー関係者の消費支出                          | 約0.07億円 |
| (8) 大会関係者の消費支出                             | 約0.7億円  |
| (9) 大阪マラソン視察関係者の消費支出                       | 約0.01億円 |
| (例) 他マラソン大会関係者が52人来阪（うち海外からは6人）            |         |
| (10) 大阪マラソンEXP02016来場者数の消費支出               | 約3.9億円  |
| (例) 123,000人の来場者                           |         |

2. チャリティ募金の総額 約1.4億円

3. 関係企業独自の支出 約1.0億円

4. 大会運営組織による支出 約12.2億円

##### ② 一次波及効果、二次波及効果：約28.2億円

**①+②=約144億円**

※マラソンが実施される間の交通の不通や渋滞が発生時のマイナスの経済効果は考慮せず



# 第7回大阪マラソン 大会要項（概要）

資料2

■大会名称 (英文名)	第7回大阪マラソン ～OSAKA MARATHON 2017～ Osaka Marathon 2017
■主催	大阪府、大阪市、一般財団法人大阪陸上競技協会
■共催	読売新聞社
■主管	一般財団法人大阪陸上競技協会
■運営協力	大阪パラ陸上競技協会
■後援 (予定)	公益財団法人日本陸上競技連盟、大阪市地域振興会、大阪府商店街連合会、大阪府商店街振興組合連合会、大阪市商店会総連盟、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会、公益財団法人大阪観光局、公益財団法人大阪体育協会、大阪府体育連合、大阪府スポーツ推進委員協議会、大阪市体育協会、大阪市体育厚生協会、大阪市スポーツ推進委員協議会、一般財団法人大阪スポーツみどり財団、大阪府障がい者スポーツ協会、社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会、一般社団法人大阪府医師会、一般社団法人大阪府病院協会、公益社団法人大阪府看護協会、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、阪神高速道路株式会社、社会福祉法人読売光と愛の事業団、特定非営利活動法人大阪ライフサポート協会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、報知新聞社、株式会社毎日放送、読賣テレビ放送株式会社 <順不同>
■メインスポンサー	株式会社ケイ・オブティコム
■オフィシャルスポンサー	ミズノ株式会社、株式会社ダスキン、久光製薬株式会社、アサヒビール株式会社、近畿日本ツーリスト株式会社、日本通運株式会社 他
■種目	(1)マラソン ①日本陸上競技連盟登録競技者 ②日本陸上競技連盟に登録していないランナー ③車いす (2)チャレンジラン(8.8km)
■開催日時	2017年(平成29年)11月26日(日) 8:55 車いすマラソンスタート 9:00 マラソン・チャレンジランスタート 10:50 チャレンジラン終了 11:15 車いすマラソン終了 16:00 マラソン終了
■コース(マラソン)	大阪城公園前をスタートし、インテックス大阪前をフィニッシュとする大阪マラソンコース <日本陸上競技連盟公認コース/AIMS公認コース>
■コース(チャレンジラン)	大阪城公園前～大阪市役所前 (公認条件に適合せず記録は公認されない)
■競技規則	2017年度日本陸上競技連盟競技規則、日本パラ陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。
■制限時間	マラソン:7時間 車いすマラソン:2時間20分、チャレンジラン:1時間50分
■定員	マラソン:30,000人、チャレンジラン:2,000人
■参加資格	(1)マラソン 1999年(平成11年)4月1日以前に生まれた者 ※日本陸上競技連盟登録競技者については、2017年度の登録者とする。 ※視覚障がいのある方で単独走行が困難な方は伴走者1人をつけることができる。 (盲導犬の伴走は不可) ①市民アスリート (1)日本陸上競技連盟登録競技者、(2)日本陸上競技連盟に登録していないランナー ※国内居住者で日本語サイトからのエントリー者に限る。 (1)、(2)ともに年代・性別毎に設定した基準タイム以内の記録(日本陸上競技連盟公認またはAIMS公認コースで2015年(平成27年)4月1日以降のグロスタイム)を有する者 計2,000人 ②個人 (1)日本陸上競技連盟登録競技者、(2)日本陸上競技連盟に登録していないランナー、 (3)車いす レース仕様車とする(日本パラ陸上競技連盟競技規則による) ※2015年(平成27年)4月1日以降の国内または国外の車いすレースにおいて ハーフ:1時間10分以内 フルマラソン:2時間20分以内の記録を有する者。計30人

③ペア(2人) 、④グループ(3～7人) 、	
⑤チャリティランナー (1)日本陸上競技連盟登録競技者、 (2)日本陸上競技連盟に登録していないランナー	
※(1)、(2)ともに大阪マラソンチャリティ制度に賛同し目標金額70,000円以上の寄付を集めた者。	
⑥大阪スポーツ応援ランナー (1)日本陸上競技連盟登録競技者、 (2)日本陸上競技連盟に登録していないランナー	
※⑥(1)、(2)ともにふるさと納税制度を活用して募集期間内に、大阪府「なみはやスポーツ振興基金」又は大阪市「大阪市スポーツ振興基金」に10万円以上の寄附をされた方	
※ ②～⑥はいずれも、6時間30分以内に完走できる者。	
(2)チャレンジラン 2002年(平成14年)4月1日以前に生まれた者	
※1時間20分以内に完走できる者。 ※車いすでの参加は不可。 ※視覚障がいのある方で単独走行が困難な方は伴走者1人をつけることができる。 (盲導犬の伴走は不可) ※チャレンジランは、後方のブロックよりスタートする。	
■参加料(市民ラン)	マラソン:国内 10,800円(国内のみ)
■参加申込(市民ラン)	※期間 2017年(平成29年)4月4日(火)12時から 4月7日(金)17時まで。 ※方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る) ※先着順(2,000人) ※チャリティ募金については、参加料とは別に参加者1名につき1口500円を2口以上、及び、事務手数料を必要とする。
■参加料(個人)	マラソン:国内 10,800円 国外 13,000円 チャレンジラン:国内 5,400円 国外 6,500円
■参加料(ペア)	マラソン:1ペア(2人) 30,000円
■参加料(グループ)	マラソン:1グループ(3～7人まで)105,000円
■参加申込(個人・ペア・グループ共通)	(1)方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る) (2)期間 2017年(平成29年)4月7日(金)10時から 5月12日(金)17時まで。 (3)チャリティ募金については、参加料とは別に参加者1名につき1口500円を2口以上、及び、事務手数料を必要とする。
■参加申込(チャリティランナー)	(1)方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る) (2)期間 2017年(平成29年)4月7日(金)10時から 8月31日(木)17時まで。
■参加料(大阪スポーツ応援ランナー)	マラソン:国内 10,800円 国外 13,000円
■参加申込(大阪スポーツ応援ランナー)	※期間 2017年(平成29年)4月4日(火)から 5月19日(金)まで。 ※方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る) ※先着順(大阪府・大阪市各300人) ※チャリティ募金については、参加料とは別に参加者1名につき1口500円を2口以上、及び、事務手数料を必要とする。
■参加者受付	2017年(平成29年)11月24日(金)・25日(土) 大阪マラソンEXPO2017会場(インテックス大阪)にて行う。
■その他	(1)チャリティプログラムの趣旨に賛同できない方の申し込みはご遠慮いただきます。 (2)主催者の責によらない事由で大会が中止の場合、参加料の返金等は一切行わない。 (3)大会参加に関しては十分にトレーニングし、事前に健康診断を受診する等、体調には万全の配慮をしたうえで参加すること。 (4)競技中の事故についての応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。 (5)本大会は、国内の関連するすべての法令を遵守し実施されるものとする。

## マラソンコースについて

スタート：大阪城公園前

フィニッシュ：インテックス大阪

※日本陸上競技連盟公認コース／AIMS 公認コース



※マラソンコースについては、第1回大会から変更なし。

## ランナー募集について

- 1. 種 目** マラソン (1) 日本陸上競技連盟登録競技者  
 (2) 日本陸上競技連盟に登録していないランナー  
 (3) 車いす  
 チャレンジラン 8.8 km

**2. 参加定員** 32,000 人

(内訳) マラソン 30,000 人  
 ・個人(車いす含む)、ペア、グループ 28,000 人  
 ・市民アスリート 2,000 人 (個人のみ (車いす除く))  
 チャレンジラン 2,000 人  
 ※連続落選者 3,000 人、大阪スポーツ応援ランナー600 人、  
 チャリティランナー600 人を含む

(参考) 第4回大会まで 30,000 人 (マラソン 28,000 人、チャレンジラン 2,000 人)  
 第5回大会から 32,000 人 (マラソン 30,000 人、チャレンジラン 2,000 人)

**3. 申込方法**

インターネット (PC・スマートフォンのみ)  
 (市民アスリート、個人 (車いす含む)、ペア、グループ)

**4. 申込期間**

申込期間：4月7日(金) 10時から5月12日(金) 17時まで  
 ※市民アスリート：4月4日(火) 12時から4月7日(金) 17時まで【先着順】  
 ※大阪スポーツ応援ランナー：4月4日(火) から5月19日(金) まで【先着順】  
 ※チャリティランナー：4月7日(金) 10時から8月31日(木) 17時まで

**5. 申込区分・参加料等** ※チャリティ募金は「1口500円×2口以上」

種 目	申込区分	① 参加料	②チャリティ募金 (2口の場合)	合計金額 (①+②)
マラソン	個人 (※)	10,800円	1,000円	11,800円
	ペア	30,000円 (15,000円×2人)	2,000円 (1,000円×2人)	32,000円
	グループ (3~7人)	105,000円	7,000円	112,000円
チャレンジラン	個人	5,400円	1,000円	6,400円

(※) 個人には、市民アスリート、大阪スポーツ応援ランナー、車いすを含む。

(注1) ペアエントリー及びグループエントリーについては大阪マラソン記念グッズ (人数分) を用意

(注2) 当選時、別途事務手数料が必要

(1) 市民アスリート枠 (定員 2,000 人、前回 1,000 人から拡大)

大阪マラソンが独自に算出した年代・性別毎に設定した基準タイム以内の記録(日本陸上競技連盟公認またはA I M S公認コースで2015年(平成27年)4月1日以降のグロスタイム)を有する者。

【基準タイム】

年代	男性	女性
18～39歳	03:00:00	03:40:00
40～49歳	03:15:00	03:45:00
50～59歳	03:25:00	04:00:00
60～69歳	03:50:00	04:30:00
70歳～	04:30:00	05:10:00

(2) 大阪スポーツ応援ランナー (新設：定員 600 人)

ふるさと納税制度を活用して募集期間内に大阪府「なみはやスポーツ振興基金」又は大阪市「大阪市スポーツ振興基金」へ10万円以上寄附いただいた方に、それぞれ先着300名(合計600名)に出走権を進呈する「大阪スポーツ応援ランナー」枠を新設します。

(3) 連続落選者枠 (定員 3,000 人)

第4回・第5回・第6回大阪マラソンにインターネットで個人エントリーし、3大会連続で落選した方を、第7回大会のエントリー抽選時に優先的に抽選し、3,000人が当選。

この抽選で外れた方は、一般エントリーに戻し抽選する(再エントリー不要)。  
種目はマラソン(個人)のみ。

## 6. その他

- (1) マラソン(市民アスリート、第6回大会のなないろチーム対抗戦で優勝した紺組で抽選による出場権を有する方、チャリティランナー、大阪スポーツ応援ランナーを除く)及びチャレンジランは、定員を超えた場合は抽選を行う。
- (2) 抽選結果は6月中旬に通知予定
- (3) その他詳細は、2月下旬以降に大会公式HPや募集要項で周知予定

## 第7回大阪マラソンランナー募集ポスターについて

### 1. 第7回大阪マラソンランナー募集ポスターについて

これまで、大阪マラソンのランナー募集ポスターについては、事業者において作成してきました。しかし、大阪マラソンが、より多くの方に親しまれ、そして、大阪マラソンをともに育てていただくことにより、本大会を一層魅力あるものとする取組みの一環として、今回初めて一般公募を実施しました（ポスター等に使用するメインビジュアル(作品の中心となるイメージ画像を公募)）。

審査の結果、最優秀作品には、てらど たまみさんの作品が選定され、この作品をメインビジュアルとして、第7回大阪マラソンランナー募集ポスター及びパンフレットを作成します(資料5-1)。

### 2. 公募の概要について

○募集期間：平成28年10月14日(金曜日)～11月30日(水曜日)17時

○応募作品数：24作品

○受賞者：最優秀作品 てらど たまみさん

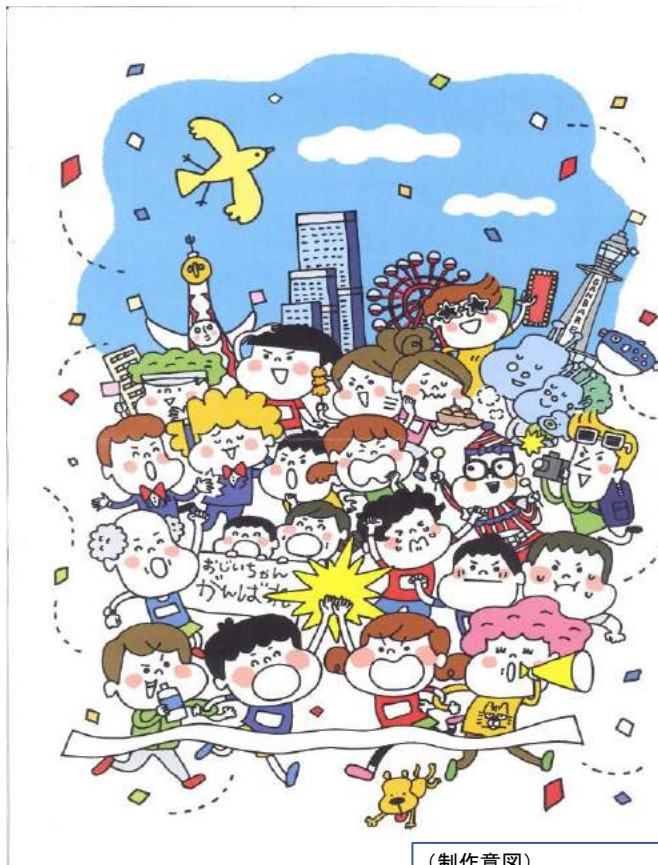
優秀作品 堺井 美咲さん

優秀作品 實重 あかりさん

○受賞作品及び制作意図：資料5-2のとおり



## 第7回大阪マラソンのポスター等に使用するメインビジュアル受賞作品



最優秀作品 たらど たまみさん

(制作意図)

大人から子どもまで様々な人が参加する平和の祭典をイメージしました。ただ走るだけでなく、大阪らしい楽しさを体験できる大会になればと思います。



優秀作品 堺井美咲さん

(制作意図)

大阪の楽しさ、にぎやかさを親しみやすいタッチのイラストとやわらかな色あいで表現しました。



優秀作品 實重あかりさん

(制作意図)

お祭り感、大阪感を出したビジュアルにしました。ランナー、支えるスタッフは神輿をかつぐ人、応援する人、みんなが主役になれるようなお祭りをイメージして製作しました。手前の人物は派手な配色にし、背景は淡い配色にしました。

## チャリティ事業について

第7回大会では、第6回大会のチャリティスキームを継続し、「チャリティアンバサダー」や「チャリティランナー」による寄付参加を呼びかける。出場ランナーに限定販売するチャリティTシャツ等のチャリティグッズを販売するなどの取組みを行います。

### (1) チャリティ寄付先団体の決定

第7回大会に向け、大阪マラソンのテーマカラーである7色それぞれに設定されているチャリティテーマの見直しについて、チャリティ専門部会（座長：橋爪紳也 大阪府立大学 21 世紀科学研究機構教授）において審議し、「スポーツ・文化を支える」等の新たなテーマの設定や見直しを実施。

これに基づき、チャリティ募金の寄付先団体を公募。応募のあった44団体について、①応募動機と活動状況、②チャリティプログラムへの意欲とコラボレーション企画の提案力、③告知や広報活動、④大阪での活動状況や今後の予定の4つの審査項目に基づき選考した結果、7つのチャリティテーマに各2団体、合計14団体を決定。

（10団体が第6回大会から第7回大会へ継続し、4団体が新規となる。（別添「第7回大阪マラソン 寄付先団体一覧」参照）。

### (2) チャリティスキーム（一部変更）

ランナーエントリー時に、一人2口以上（1口=500円）の口数で、支援したいチャリティテーマを選択するチャリティ募金など、基本的なスキームは第6回大会の方針を継続する。第7回大会では、最低口数の2口は、同じテーマを1つ選択していただく。

### (3) チャリティアンバサダー及びなないろチームリーダーの起用（継続）

大阪にゆかりのある著名人などを起用した「チャリティアンバサダー（=大使）」が、チャリティプログラムの意義などについて広くPRすると共に、ジャパンギビング等を活用した寄付の呼びかけや大会の盛り上げを行う。

また、大会前からのPR活動に加え、大会当日の「なないろチーム対抗戦」の盛り上げにも協力いただく「なないろチームリーダー」を起用する。

### (4) チャリティランナーの募集（継続）

チャリティ活動への理解を深め、支援の輪を広げていくことを目的に、チャリティに対する関心が特に高い方に、チャリティランナーとして参加していただけるよう、ランナー募集開始と同時にチャリティランナーを募集する。

- ◆種 目：マラソン個人（日本陸連登録競技者・日本陸連に登録していないランナー）のみ
- ◆募 集 期 間：平成29年4月7日（金）10時～8月31日（木）17時
- ◆募 集 予 定 人 数：600人
- ◆寄 付 目 標 金 額：7万円以上（寄付先団体の中から1団体選択し、寄付目標金額は自己申告）



◆申込方法：インターネット（PC・スマートフォンに限る）

◆チャレンジ期間：平成29年4月7日（金）～10月27日（金）

#### （5）なないろチャリティTシャツ等の制作・販売（継続）

第6回大会に引き続き、第7回大会においても、FM802のアートプロジェクト「digeout」がプロデュースするオリジナルデザインのTシャツ（7種類）を制作し、参加ランナーを対象に限定販売する。メディアと共同した話題提供により、チャリティプログラムのさらなる浸透をめざす。

なお、チャリティウィンドブレーカー、なないろチャリティキャップ、名前やニックネームを入れたナンバーカードは、継続販売。

チャリティグッズ	販売金額（税込）／枚	寄付金額
なないろチャリティTシャツ	4,000円	製作費を除く2,000円
チャリティウィンドブレーカー	7,500円	製作費を除く3,500円
なないろチャリティキャップ	2,000円	製作費を除く売上の一部を寄付
ニックネーム入りナンバーカード	500円	

※Tシャツ、ウィンドブレーカー、キャップは、複数カラーの中から複数購入することが可能。（ウィンドブレーカーは1種類のみ）

#### （6）チャリティ募金について

- ・ジャパングビングサイト内の大阪マラソン特設サイトの工夫

チャリティの活動内容がよりわかりやすく伝えられるようジャパングビングと調整していく。

- ・なないろハイタッチ手袋の進呈

第7回大会においても、沿道応援において、ランナーに手を振ったり、ハイタッチしながら応援するためのグッズとして、EXPO 会場や大会当日の沿道募金で一定金額以上の寄付をいただいた方に進呈する。

## 第7回大阪マラソン 寄付先団体一覧

番号	チャリティテーマ (色)	主な活動内容	団体名	寄付金使用用途	新規団体
1	美しいまちと暮らしを支える (紫)	東日本大震災で失われた海岸林を再生	公益財団法人 オイスカ	津波で失われた宮城県名取市の海岸林 100ha の再生のためクロマツ 50 万本の育苗や、被災地住民の生計支援・雇用に活用	
2		ごみひろいを通じ、若者がイキイキと働くまちを実現	特定非営利活動法人 スマイルスタイル	ごみ袋のデザインを公募・商品化し無料配布するほか、オーケストラとの就労支援プログラムに活用	
3	スポーツ・文化を支える (紺)	市民プールで障がいのあるすべての子どもに水泳指導	特定非営利活動法人 プール・ボランティア	プール用車椅子や安全マット、スイムキャップの整備、障がい児が沖縄の海でイルカ体験をするプログラムの費用などに活用	
4		まちの安全を守るランニングによる防犯パトロール	特定非営利活動法人 改革プロジェクト	大阪でのパトランチームの設立、防犯活動の推進や防犯ワークショップ、啓発パンフレットの制作などに活用	○
5	自然環境を支える (水)	大阪を中心とした国内における自然環境保全活動	認定 NPO 法人 自然環境復元協会	「大阪レンジャーズプロジェクト」など、自然体験活動やエコツアーの事業化、環境保全活動に活用	
6		すべての子どもが心から自然とふれあえる社会をつくる	公益社団法人 日本環境教育フォーラム	人材育成活動やインドネシア・マラサリ村での森林保全活動及び大阪でのセミナーや環境教育カフェの開催に活用	
7	子どもの未来を支える (緑)	難病の子どもとその家族に寄り添う「第2のお家」	一般社団法人 こどものホスピスプロジェクト	TSURUMI こどもホスピスでの遊びの空間・機会の充実、遊びに来ることができない子どもへの訪問活動の基盤づくりに活用	○
8		不登校/経済的困難などしんどさを抱えた高校生を支援	認定 NPO 法人 D×P	公立の通信制・定時制高校の生徒に向けたキャリア教育プログラムを提供するほか、生徒のアフターフォローやインターンシップに活用	○
9	家族を支える (黄)	難病の子どもとその家族全員を応援・サポート	公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を	従来の活動に加え、難病を患う子どもの家族、母親が演奏する女性和太鼓奏団「ひまわり」の全国公演の活動費に活用	
10		苦悩に寄り添う電話相談と自死遺族へのサポート	認定特定非営利活動法人 国際ビルダーズ 大阪自殺防止センター	広報活動や自殺防止啓発活動、電話相談員の増員、ウェブ動画の制作、ポスターの制作掲出などの PR 活動に活用	○
11	子育てと若者を支える (オレンジ)	病児保育で大阪のひとり親家庭をサポート	仮認定特定非営利活動法人 ノーベル	大阪のひとり親家庭に病児保育を提供し、安心して子育てできる環境を整えることに活用	
12		若年無業の状態にある若者たちへの就労支援	認定特定非営利活動法人 育て上げネット	経済的に厳しい状況にある若者に支援を提供する「若者・就労応援パッケージ」や生活困窮状態の家庭での子どもたちに学習機会と居場所を提供するプログラムなどに活用	
13	生きる希望を支える (赤)	iPS 細胞による再生医療・創薬の研究	京都大学 iPS 細胞研究所	優秀な人材の確保、安定的な研究活動の支援、iPS 細胞研究の情報発信・普及活動、医療応用に向けた研究費など、iPS 細胞を活用した新たな治療法の開発に活用	
14		がん患者とその家族をサポート	特定非営利活動法人 がんサポートコミュニティー	大阪を中心とした関西圏在住のがん患者に対する無料の支援プログラム「大阪サポートグループ」や「患者支援プログラムを学ぶセミナー」などに活用	

# ボランティアについて

## ■活動内容

活動日等	活動内容
大阪マラソン EXPO2017(前日準備) 11月23日(木・祝)	ランナー配布物の袋詰め(受付準備)
大阪マラソン EXPO 2017 11月24日(金)・25日(土)	ランナー受付、会場案内、総合案内
第7回大阪マラソン 11月26日(日)	コース沿道整理、給水・給食、手荷物預かり・返却、完走メダル配布、観客の案内誘導、ランナー救護受付、自転車の運搬補助(力持ちボランティア) など

## ■募集内容

区分	団体ボランティア	個人ボランティア
定員 ※変更となる場合あり。	10,000人	
申込単位	1団体につき10人以上	1～5人
要項発表	5月中旬予定	
申込受付開始	6月上旬予定 ※ 先着順。定員になり次第締切り。	7月中旬予定 ※ 先着順。定員になり次第締切り。

## ■支給物品

ウェア・キャップ など

※ 報酬・食事・交通費の支給はなし。

## 今後の主なスケジュールについて

- 4月4日(火) ■市民アスリートエントリー開始  
(~4/7(金) 2,000人 先着順)  
■大阪スポーツ応援ランナー募集開始  
(~5/19(金) 600人 先着順)
- 4月7日(金) ■ランナーエントリー開始(~5/12(金))  
■チャリティランナーエントリー開始(~8/31(木))
- 6月 ■ボランティア(団体)募集開始  
■ケイ・オブティコム Presents  
大阪マラソン公式ランニングイベントの開催(11日(日))  
(ヤンマースタジアム長居)  
■沿道応援イベント参加者募集開始  
●大阪マラソン組織委員会(第21回)
- 7月 ■ボランティア(個人)募集開始
- 10月 ●大阪マラソン組織委員会(第22回)
- 11月 ■商店街等との連携によるPR展開<予定>
- 11月24日(金) ★大阪マラソンEXPO2017(インテックス大阪)  
(~26日(日))
- 11月25日(土) ★大阪マラソン公式ランニングイベントの開催  
★ウェルカムパーティー
- 11月26日(日) ☆「第7回大阪マラソン  
~OSAKA MARATHON 2017~」開催  
★大阪マラソン沿道応援イベント開催
- 通年開催 ★大阪マラソン公式ランニングクリニックの開催  
★大阪マラソン公式練習会の開催